

日に日に気温が上がり、夏らしくなってきましたね！今年は猛暑になるとの予報も出ていますので、体調管理をしっかりとし、北海道の短い夏をいっぱい楽しみましょう♪

第12回日本医学シミュレーション学会学術集会 参加レポート

2017年3月18・19日に島根県で開催された第12回日本医学シミュレーション学会学術集会に、教育センター（兼第一内科）の佐藤伸之先生にもご参加頂き、その参加レポートを頂戴いたしました！佐藤先生、ありがとうございました！！



第12回日本シミュレーション学会に参加して

教育センター 佐藤伸之

平成29年3月18日、19日に出雲市で開催されました第12回日本シミュレーション学会に参加させていただきましたのでご報告いたします。第1日目は島根大学医学部附属病院でシミュレーション関連のワークショップが開催され、私は2日目の特別講演、シンポジウムを聴講いたしました。

パフォーマンス・インブルーメンツ・アソシエイツの米島先生の特別講演1「医学シミュレーション教育におけるインストラクショナルデザイン（ID）の重要性」では、IDの主要概念、Where am I going? (目標)、How do I get there? (学習プロセス)、How do I know when I get there (評価) を解説いただき、目標と評価の一致が重要であり、近年の成果基盤型教育につながることをご説明いただきました。シンポジウム「これからの医学シミュレーション教育」では、日本医学シミュレーション学会(JAMS)と日本医療教授システム学会(JSISH)所属の4人の先生方により、①シミュレーション教育を広めていくために、②多診療科・多職種・多病院で行う周術期危機管理セミナーの意義、③看護教育におけるシミュレーション教育の課題、④Technology enhanced learning の視点から医学シミュレーション教育の評価を考える、というタイトルの4演題のご発表がありました。①を発表された昭和大学上嶋先生は末梢神経ブロックのシミュレーション教育の取り組みについて、②の大阪医大、駒澤先生は周産期危機管理における多職種連携のシミュレーション教育の重要性についてご発表されました。また③の自治医科大学八木先生は看護の先生の立場から、自治医科大学におけるシミュレーション教育実践例を提示されました。④の自治医大メディカルシミュレーションセンター浅田先生はシミュレーション教育の評価方法についてご発表され、事前調査→診断的評価→形成的評価→事後評価→総合的評価→行動変容という過程の中で組織として改善していく重要性についてご講演されました。

ランチョンセミナーでは横浜市立大学の野村先生が「遠隔シミュレーションのトピックス」というタイトルでご講演され、日本における遠隔診断(Dr to Dr)と遠隔診療(Dr to patient)の現状、海外におけるTele-ICUとtele-simulationの実例について詳細にご説明いただきました。また、特別講演2の大阪大学医学部附属病院中央クリティカルケアセンター中島先生のご講演では、「医療チームの安全を支えるノンテクニカルスキル：スピークアップとリーダーシップ」というタイトルで、状況認識、意思決定、コミュニケーションとチームワーク、リーダーシップ、声かけ(speak up)、クローズドループコミュニケーションなどのノンテクニカルスキルについて医療安全の立場から詳細に解説いただきました。

シミュレーション教育は欧米における軍事シミュレーション、航空シミュレーションをベースに日本に導入されましたが、これからの医学教育において益々重要性が増すであろうことを確信いたしました。今回参加する機会を与えていただきましたシミュレーションセンター長、藤田教授に紙面をお借りして感謝申し上げます。



新規導入シミュレータのお知らせ

4月以降に新規に導入したシミュレータをご紹介します♪手技向上にお役立てくださいませ！



◀ 新生児蘇生モデルアドバンス

あの新生児蘇生モデルがついにタッチパッドタイプになりました！旧タイプの機能に加え、**胸部にて心音・呼吸音の聴診**ができ、タブレットPCで簡単に操作ができます。また、**模擬モニターとして心拍数とSpO₂を表示**することもできます。

そしてなんと、**泣き声も出す**ことが出来ちゃいます！リアリティUp★

▶ 乳児気道管理トレーナー

生後3ヶ月の乳児の解剖学的構造・組織・皮膚が忠実に再現されており、基礎から応用までの気道確保スキルトレーニングに効果的なトレーナーです。旧タイプが劣化してきたので更新しました！

バッグバルブマスク換気なども行え、換気による肺の膨張と胃膨満を再現してくれます。台座固定で安定感もアリ！



研修医レクチャーのお知らせ

近日開催予定の題目は以下の通りです。その他詳細は救急科または卒後臨床研修センターへお問い合わせください。

日程	担当講師	内容
7月20日(木)	救急科 藤田先生	終末期の実践的対応
7月28日(金)	手稲溪仁会 松坂先生	自分の思考が分かる診断学⑥
8月3日(木)	呼吸器内科 平井先生	ERでの胸部X線、胸部CTの読み方
8月10日(木)	皮膚科 松尾先生	救急外来&病棟で使える軟膏の選び方、使い方(仮)
8月17日(木)	未定	未定
8月18日(金)	手稲溪仁会 松坂先生	自分の思考が分かる診断学⑦
8月25日(金)	手稲溪仁会 松坂先生	自分の思考が分かる診断学⑧

※開催時間は、木曜日：19:00~21:00、金曜日：18:20~21:00です。予定の変更も有ります。

患者モデルと一夜を共にした
度胸は設けなくてはなりません

冷房の消し忘れにご注意を！

CSCを利用した後は、**必ず冷房のスイッチを切ってから退室**してください。

特に夜間・休日の利用後の消し忘れが目立っております。また、設定温度がかなり低くされている時もあります。**節電の意識も忘れぬよう**にお願い致します。

*設定温度が低く、翌朝にスタッフが出勤してくると鼻水が出るほど冷えてしまっていることがあります。
スタッフ寒いの苦手なので、マジ勘弁してください。



CSCは寝泊り厳禁です！

CSCのベッドを個人の寝泊り用に利用されている方がいます。ベッドは研修等で使用するものですので、**個人利用はご遠慮ください。**

CSCの入退室時にはログが残ります。バレないことはないのでお心置きください。

*注意書きの貼り紙をしてからは寝泊まりでの利用は見られませんが、今后再発するようであれば監視カメラ等の設置も検討いたします。

警部、ホンはコイルです

困まる...大股はヤリぬ

使用簿への記入をお願いします！

CSCを利用後は、**必ず使用簿に記録を残してください。**使用簿はCSCの利用実績にも大きく関わっていますので、ご協力をお願い致します。
記入後は受付机上のボックスへ投函してください。

旭山医科大学 臨床シミュレーションセンター

連絡先：内線：2860

スタッフ：渡辺/藤巻

HP: <http://www.asahikawa-med.ac.jp/simu/AMUSIMU/index.html>

E-mail: skillslab@asahikawa-med.ac.jp